

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書（収益性向上対策）

都道府県名 山口県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		現状		目標		実績		地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)				補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考									
					年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積								生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	事業実施前年度	目標年度				
					単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位								単位	単位	単位	単位	単位				
周防大島地域農業再生協議会	1	周防大島町	果樹(柑橘)	やまぐちブランド「鳥そだち」増産のためのシートマルチ栽培拡大	販売額の10%以上の増加	H27	24,948千円	13.1 ha	154 t	162 円/kg	-	R1	29,484千円	13.1 ha	170 t	173 円/kg	-	R1	28,185千円	10.7 ha	162 t	174 円/kg	-	230.8 円/kg	240.8 円/kg	0.958	27,002千円	45.3	JA山口県では、光センサーによる選果により糖度が一定の基準をクリアした果実をやまぐちブランド「鳥そだち」として販売している。令和元年度については、隔年結果のため、生産量が目標を下回ったこと等から、販売額の目標を達成できなかった。 ②目標値：シートマルチの設置により単収が増加(0.2t/10a)することから設置面積8.1haで16.2t増加を見込む。 また、販売単価は現状(平成27年度)の「鳥そだち」の販売単価を維持する。 ③実績値：令和元年度JA山口大島出荷販売実績。 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	JA山口県では、光センサーによる選果により糖度が一定の基準をクリアした果実をやまぐちブランド「鳥そだち」として販売している。令和元年度については、隔年結果のため、生産量が目標を下回ったこと等から、販売額の目標を達成できなかった。 ②目標値：シートマルチの設置により単収が増加(0.2t/10a)することから設置面積8.1haで16.2t増加を見込む。 また、販売単価は現状(平成27年度)の「鳥そだち」の販売単価を維持する。 ③実績値：令和元年度JA山口大島出荷販売実績。 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	資材の導入により、販売単価の向上は見られた。しかし、隔年結果により着果が少ない園地では、高品質果実の生産が見込めないことから、作業の省力化及びシートマルチの経年劣化防止のためにシートマルチを設置しない生産者が多く、取組面積が減少した。その結果、生産量が目標を下回り、販売額の目標達成とならなかった。今後とも栽培指導の徹底等により目標達成を目指していくため地域と一体となって県として支援していく。	【面積要件】要領別紙4のウに該当。 【販売額で比較する考え方】地域の平均販売額150,960円/10a対象作物の販売額407,880円/10a
周防大島地域農業再生協議会	2	周防大島町(せとみ)	果樹(かんきつ類)(せとみ)	「ゆめほっぺ」の安定生産及び国産かんきつ類の端境期出荷による産地の収益性向上	販売額の10%以上の増加	H26・27年度の平均	419,565円/10a	21.1 ha	215 t	411 円/kg	-	R1	524,396円/10a	21.1 ha	241 t	460 円/kg	-	R1	326,467円/10a	28.3 ha	240 t	385 円/kg	-	501.96 円/kg	516.68 円/kg	0.974	316,152円/10a	-98.6	生産量はほぼ目標どおり増加したものの、収穫時期の1月～2月の高温・多雨等によりヤケ果やこはん症等が発生し、高単価の5～6月出荷を目的とした長期貯蔵が計画量を下回った。また、積極的な作付推進を行うことにより栽培面積の拡大を図った結果、未成園が増加したこと等から、単位面積当たりの販売額目標を達成できなかった。 ③実績値：平成29年度・30年度の農協出荷販売額(見込み)の平均※貯蔵庫の導入により「ゆめほっぺ」の販売額が増加するため、販売額が向上。 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	生産量はほぼ目標どおり増加したものの、収穫時期の1月～2月の高温・多雨等によりヤケ果やこはん症等が発生し、高単価の5～6月出荷を目的とした長期貯蔵が計画量を下回った。また、積極的な作付推進を行うことにより栽培面積の拡大を図った結果、未成園が増加したこと等から、単位面積当たりの販売額目標を達成できなかった。 ③実績値：平成29年度・30年度の農協出荷販売額(見込み)の平均※貯蔵庫の導入により「ゆめほっぺ」の販売額が増加するため、販売額が向上。 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	施設の導入に伴い、栽培面積の拡大につながり、生産量もほぼ目標どおりであった。しかし、作付推進による未成熟園の増加と収穫時期の気象の影響による品質低下から単価が目標を下回ったため、目標達成とならなかった。今後とも栽培指導の徹底等により目標達成を目指していくため地域と一体となって県として支援していく。	【実績値等の考え方】H29年度の出荷期間は、H30.3～H30.6。販売額が判明するのは、7月下旬となることから、目標年は一年前倒しし、H29年とH30年の平均とした。 【現状及び目標値は、組織の隔年結果(生産が多い年と少ない年が交互に訪れること)を勘が、2年平均とした。】 【目標値の算出の考え方】国産かんきつ類の端境期出荷であることから、高品質で実需者からの引き合いが強いことから、高単価を算定。貯蔵640円/kg通常411円/kg生産目標数量から換算して目標単価を460円/kgとする。
岩国地域農業再生協議会	1	岩国市錦町宇佐郷	水稻(酒造好適米)	酒造好適米産地の育成	販売額の10%以上の増加	H28	88,358円/10a	酒米 3.4 ha 主食 3.4 ha	10,914 kg 15,198 kg	252 円/kg 214 円/kg	-	R1	98,280円/10a	酒米 8.3 ha 生産量 29,880 kg	273 円/kg	-	R1	113,137円/10a	7.8 ha 生産量 31,171 kg	401 円/kg	-	23,600 円/60kg	23,600 円/60kg	1.00	113,137円/10a	249.7	乾燥調製施設の導入に伴い、高品質な酒米供給が出来るようになり、販売額の増加につながったことから成果目標は達成している。しかし、目標面積は達成していないため、引き続き、目標面積に向けて更なる取組を行うよう指導する。	施設の導入に伴い、酒米の生産拡大につながったことから酒米の販売額が増加した。しかし、目標面積は達成していないため、引き続き、目標面積に向けて更なる取組を行うよう指導する。	①現状値(「備」)：むかたお及び隣接産地のH27年度作付面積及びJA山口東販売実績より酒造好適米 販売額2,750,100円、貯蔵米 40a (1年4t、2年1t5、3年3t) 主食用米(作付面積減少) 販売額3,250,219円、貯蔵米3,40a (1a当たり販売額2,500円) = 2,150,100円 + 250,219円 + 3,40t × 100 *貯蔵米を確定のためH27年度で算出 ②目標値：販売額は栽培技術の向上による単収増進の改善及び単収増加に基づき (1a当たり)目標販売額 200円 = 210円/kg × 200kg/10a *単収比率：1年60t、2年20t、3年20t *目標単価(円/60kg)：(27年1年(19,300円) + 2年(13,300円) + 3年(10,800円)) ÷ 3 = 14,467円/60kg *単収200kg/10a(927実績321kg/10a) ③実績値(「備」)：むかたお及び隣接産地のH28年度作付面積及びJA山口東販売実績より酒造好適米(1a当たり) 27年(19,300円) + 2年(13,300円) + 3年(10,800円) ÷ 3 = 14,467円/60kg *単収200kg/10a(927実績321kg/10a) ④達成率：(③-①)/(②-①)×100			

南すお う地域 農業振 興協議 会	1	柳井 市(旧大 和町)、 田布施 町	土地利 用型作 物(麦)	麦産地の生産力増 強の推進	販売額の 10%以上 の増加	H 2 8	4,893 円/10a	76.6 ha	1等 31.4 t 2等 130.4	1等 28 t 2等 22	円/ kg	-	R 1	7,579 円/10a	94.0 ha	1等 234.0 t 2等 26.0	1等 28 t 2等 22	円/ kg	-	R 1	11,265 円/10a	94.3 ha	1等 335.9 t 2等 8.4	1等 31 t 2等 25	円/ kg	-	54,164 円/t	57,143 円/t	0.948	10,680 円/10a	215.5	①現状値 全農の平成28年度産種前 契約額及び経費目標額 から単価を算出 1等小麦28円/kg、2等 小麦22円/kg 販売実績値：1等 31.4t、2等130.4t 10a当たり販売額(平成 28年度)：(31.4t×28円 /kg+130.4t×22円/kg)÷ 76.6ha÷10=4,893円 /10a ②目標値 販売単価：現状値と同額 販売量：1等234t(農 平均歩みの90%を目標 値)、2等22t 10a当たり販売額目標 (平成31年度)：(234t× 28円/kg+22t×22円/kg) ÷94ha÷10=7,579円 /10a ③実績値 上記と同様の計算で算出 令和元年度産種前契約額 及び経費目標額を使用 ④達成率：(③-①) / (②-①) ×100	施設の導入により販売額 が増加し、目標達成となっ た。 取り組み内容の①面積拡 大、②単収増加、③品質向 上ともに目標数字を達成 し、産地としての生産拡大 が図られた。	施設の導入により、産 地拡大・単収及び品質向 上されたことにより、販 売額増加となり目標達成 となった。 今後とも取組を継続し 、産地としての生産拡大 が図られた。
山口宇 部地域 農業推 進協議 会	1	西高泊	野菜 (ホギ)	規模拡大に対応した生産・出荷体制 の確立	販売額の 10%以上 の増加	H 2 7	171,426 千円	3.96 ha	157.1 t	1,019	円/ kg	-	R 1	247,425 千円	4.72 ha	210.5 t	1,175	円/ kg	-	R 1	211,451 千円	4.72 ha	259.2 t	816	円/ kg	-	921 円/kg	736 円/kg	1.251	264,582 千円	122.5	①現状値：H27年度 産地出荷販売額実績 出荷量×単価 =157.1t(3.96ha、 3.97t/10a)×1,091 円/kg =171,426千円 ②目標値：R1年度 生産計画販売額数値 出荷量×単価 =210.5t(4.72ha、 4.28t/10a)×1,175 円/kg =247,425千円 ③実績値：目標年R 1年度生産出荷販売 額実績 ④達成率：(③- ①) / (②-①) × 100	施設導入により、販売額 の増加につながり、目標達 成となった。 しかし、取組主体は生産 量は計画通りに増加した が、販売単価の下落により 目標達成とならなかった。 今後とも取組を継続し販 売額の増加を目指すよう指 導を行う。	施設導入により、生産 量の増加となり販売額増 加につながり、目標達成 となった。 今後とも取組を継続し 販売額の増加を目指すよう 指導を行う。
あぶら んど穀 地域農 業推進 協議会	3	萩市 阿武町	水稻 (酒造好 適米)	酒米とう精施設の 整備による需要拡 大に応じた酒造好 適米産地の育成	販売額の 10%以上 の増加	H 2 7	97,857 円/10a *酒造好適 米に転換す る主食用米 の販売額も 含んで算出	酒米： 30.4 ha 主食用米： 23.6 ha	生産量 87,270 kg 113,752	358 円/kg 189	-	R 1	128,880 円/10a	酒米 54.0 ha 主食用 米	生産量 194,400 kg 358	円/ kg	-	R 1	137,127 円/10a	酒米 48.9 ha 生産量 161,400 kg 390	円/ kg	-	23,600 円/60kg	23,600 円/60kg	1.000	137,127 円/10a	126.6	現状については、平成28 年度主食用米の販売額が 確定していないため、酒 造好適米・主食用米とも に平成27年度を現状値と する。 ①現状値： 97,857円/10a=1山田錦 (358円/kg×289kg/10a ×30.4ha)+主食用米 (189円/kg×482kg/10a ×23.6ha) / 産地面積 (30.4ha+23.6ha) ※主食用米単収は長北作 柄より(産目1.8mm) ※主食用米単価はH27 年度コシヒカリ1等整組 歩合70%以上80%未満よ り ②目標値：令和元年度の 農協販売額(見込み) 128,880円/10a=358円 /kg×358kg(54ha) ③実績値：令和元年度の 農協出荷実績(面積、出 荷量、平均単価)に基づ いて販売額を算出。 販売額=単収×平均単 価 ④検証方法：(③- ①) / (②-①) ×100%	地元の酒造メーカーの需 要に応じた原料の安定供給 に取り組むため、農産物処 理加工施設(酒米とう精 機)を整備した。 このことで酒造好適米へ の転換や酒米の作付拡大が 図られたとともに、生産者 の栽培技術の向上により、 高品質な酒米の生産拡大に つながったことから酒米の 販売額が増加し、成果目標 を達成した。 しかし、成果目標の面積 及び生産量は達成しなかつ たことから、引き続き地域 一体となって生産振興に取 組むよう指導する。	施設の導入により、酒 米の生産拡大につながっ たことから酒米の販売額 が増加し、成果目標を達 成した。 しかし、成果目標の面積 及び生産量は達成しなかつ たことから、引き続き地域 一体となって生産振興に取 組むよう指導する。				

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R1)	事業実施後 (目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
山口県	周防大島町	周防大島地域農業再生協議会	1	柑橘	販売額の10%以上の増加(目標:18.2%増加)	24,948千円(H27)	29,484千円	27,002千円	45.3%	隔年結果により取組面積が減少し販売額が下がったこと等により、成果目標の達成率が45.3%と低調となった。 改善のため、栽培技術指導の強化を図るなど周防大島地域農業再生協議会を指導する必要がある。
	周防大島町	周防大島地域農業再生協議会	2	かんきつ類(せとみ)	販売額の10%以上の増加(目標:25.0%増加)	419,565円/10a(H26.27平均)	524,396円/10a	316,152円/10a	-98.6%	作付推進に伴う未成熟園の増加と収穫期の気象の影響による品質低下により単価が下がったこと等により、成果目標の達成率が-98.6%と低調となった。 改善のため、栽培技術指導の強化を図るなど周防大島地域農業再生協議会を指導する必要がある。

(注)1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。